

日野川にそ上するサクラマスについて

加 藤 文 男

は じ め に

福井県の河川には春季日本海からサクラマス (*Oncorhynchus masou*) がそ上する。日野川は九頭竜川の一支流であるが、今回そ上するサクラマスについて観察の機会を得たので、その形態とそ上について報告する。

結 果 と 考 察

1. サクラマス (*Oncorhynchus masou*) の形態

形態の測定は松原 (1963) に従い、測定値は表1に示す通りである。側線鱗数 134、幽門垂数 50、鰓耙数 19、鱗の隆起線は露出部において消失する。背びれ先端に一黒斑があり、バー マークは消失して全く認められない。これらの事実は、松原 (1963) の検索に従い、サクラマス (*Oncorhynchus masou*) と同定できる。

生時の外観は、背面緑青色(死後青色を呈す)小黒点散布する。体側銀白色を呈し、皮膚の表面はねばりけがあり粘液に富む。鱗ははげ易く、体側に朱点は存在しない。背びれ灰色、先端部黒色斑あり、外縁の後端白色を呈する。脂鱗は灰色、小黒点がある。胸びれは内面黒色、外面は無色である。腹びれは無色であるが、内面の前縁褐色を呈す。バー マーク全くなく、頭頂黒青色、吻端は尖る。下顎の先端及び舌の先端部は青黒色を呈する(図1の上)。

なお、鱗相について付記すれば、鱗の周縁に見られるはずの第2期冬帯が観察されない点である。(図1の下) 岡田、桜井(1937)はサクラマスの第2期冬帯不形成の数例をあげており、かような個体のあることを示している。当地の河川そ上群が或はかような系統を示すのかも知れず、今後の課題としたい。なお、鱗の露出部の吸収はまだみられなかった。

2. サクラマスのそ上について

サクラマスのそ上が観察できたのは、3月～5月であったが(表2)、当地のマスに詳しい人によれば、2月～6月にわたってそ上が見られるということである。なお、本流九頭竜川の福井市付近でも漁師によれば、サクラマスのそ上は2月～6月であるということである。

サクラマスのそ上は佐野(1964)によれば、3月には一部の河川でそ上が始まり、大部分の河川では4月～5月の増水期に主群が通過し、6月上旬頃にはそ上が終るという。福井県地方では2月にそ上が始まるということであるから、やや早いように思われる。サクラマスのそ上期は北から南下するにつれて、早まるのかも知れない。

そ上が最も盛な時は、雨後の増水期であって、上流の雪どけの水も加わり河川の水かさが増した時である。そ上時の水温を見たところ、3月下旬の 7°C ～5月上旬の 16.5°C が観察され、相当大きい水温の幅を示した（表2）。そ上数は少なく推定 $200\sim300$ といわれ、往時九頭竜川を多数のサクラマスがそ上した面影はもうない。今はマスの漁業もすたれてしまった。

そ上時のサクラマスの体長は、個体数6尾であったが、 $45.5\text{cm}\sim51.0\text{cm}$ で平均 47.8cm であった。殆どが♀ということであり、河川残留型のヤマメに♂が多いことと符号する。サクラマスの幼魚ギンケヤマベの発生については、目下調査しているがごくわずかに見ることが出来る（加藤1965）。

サクラマスとヤマメの関係は、サクラマスの生態を知る上において重要であるが、これらの点は次の機会にしたい。

文 諸

大島 正満	1957	桜鱒と琵琶鱒 榆書房
松原 喜代松	1963	魚類の形態と検索1 石崎書店
佐野 誠三	1964	サクラマスの生態と繁殖保護 北海道立水産ふ化場
中村 守純	1963	原色日本淡水魚類検索図鑑 北隆館
岡田 雋	1937	桜鱒の鱗に見出された第二期帶不形成の数例 鮎鱒叢報 IX
桜井 基博		
加藤 文男	1965	発育途上のギンケヤマベ採集と飼育 内田老鶴圃新社

（1970.2.28 丹生高校教諭）

表1 サクラマスの形態測定値

全 体 頭 体 吻 眼 眼 上 尾 体	長 長 長 高 長 間 経 顎 柄 幅	5 7.3 5 1.0 1 1.2 1 3.1 3.7 4.7 1.7 6.7 4.0 6.7	cm
の 体 長 比 と	頭 長 体 高	5.1 2 4.3 7	
頭 長 と の 比	吻 長 眼 経 眼 間 距 離 上 顎 骨 尾 柄 高	3.0 3 6.5 9 2.3 8 1.8 2 2.8 0	
	D A P V	1 3 1 3 1 5 9	
鰓 鰓 鰓 鰓 鱗 性 生 殖 體 採 集 採 集	細 数 条 骨 門 垂 列 性 腺 重 地 月 日	7 + 1 2 = 1 9 1 2 5 0 3 0 - 1 3 4 - 3 2 ♀ 未熟卵の直経 1.2 mm 2.4 kg 日野川 鮒江付近 1968・3・27	

表2 サクラマスの観察とそ上の時の水温(日野川)

月	日	測定時	水温(°C)	気温(°C)	観察個体
4 1.3.21		1 6時	7.0°C	1 0.5°C	No. 1
4 1.3.22		1 5時	8.0°C	1 7.0°C	No. 2, No. 3
4 1.3.24		1 7時	10.0°C	1 0.5°C	No. 4
4 1.3.26		1 6時	8.5°C	7.5°C	
4 1.3.30		1 6時	8.0°C	1 1.0°C	
4 1.4.29		1 4時	1 9.5°C	2 5.0°C	
4 1.5.8		1 5時	1 6.5°C	2 0.5°C	No. 5
4 1.5.28		1 4時	1 7.5°C	2 1.5°C	
4 3.3.27			1 2.0°C		No. 6

表3 表2に示すサクラマスの形態測定

(単位はcm)

個体	体長	全長	頭長	体高
No. 1	4 8.5	5 4.0	1 0.0	1 1.5
No. 2	4 8.0			1 2.5
No. 3	4 7.0			1 3.0
No. 4	4 7.0			1 3.0
No. 5	4 5.5			1 1.0
No. 6	5 1.0	5 7.3	1 1.2	1 3.1

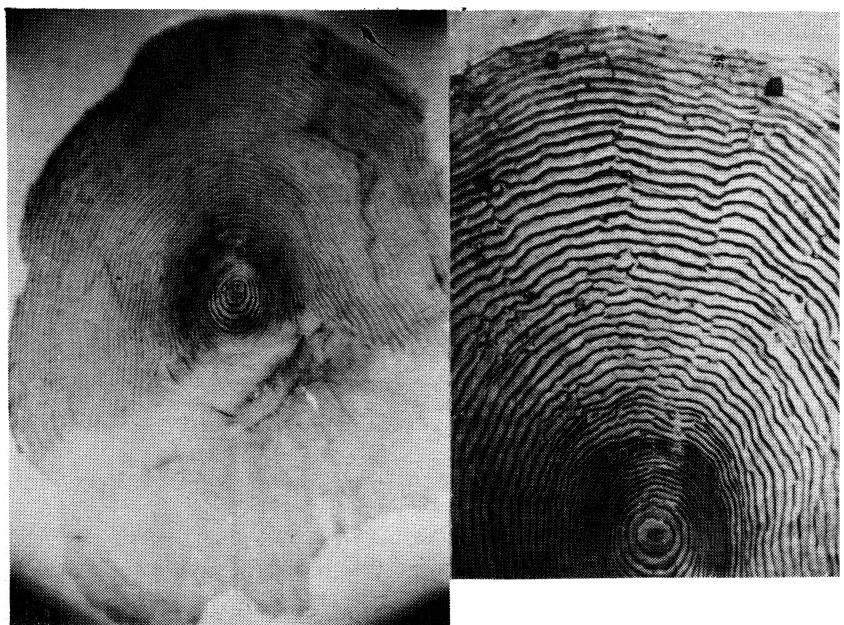


図1. 上、サクラマス (*Oncorhynchus masou*) の全形 1968.3.27
日野川
下左、鱗相 全形 下右、鱗相 被覆部